

## 3/4 「今後の業務量の示し方」 交渉開催!

**組** 勤務種別の提示ではなく、  
**1年間の業務量=出面数=必要な要員数で示すべきだ!**

**会** 「現業機関の柔軟な働き方の実現について」では、職種の融合もあり、標準数で示すことは困難であり、「管理・一般」とし、繁忙期や閑散期に柔軟に設定する。

**組** 営業統括センター発足でのあいまいな要員数では、出張・研修・各種委員会や冬季除雪もあって、勤務作成でも苦勞しており、「〇〇駅は□□人」で示すべきであると指摘しておく。

## 業務の融合や連携では 教育・訓練の実施と人材育成を求める!

**組** 乗務員の駅業務や他系統との連携による駅内の除草・除雪作業と見張り、ならびに駅信号・輸送業務には、社員の不安が無いように十分な教育や訓練が必要である。

**会** 安全を大前提として社員の不安が無いように行う。

## 乗務員の「乗務前の駅業務や企画業務」は 行うべきではない!

**会** 統括センターでは、乗務員の「乗務前の駅業務や企画業務」がある。

**組** 乗務員が乗務に集中するためにも「乗務前の駅業務や企画業務は行うべきではない」と強く指摘しておく。

**社員の健康と命**  
**安全・安定輸送** **を守るためには**

**要員確保と十分な教育訓練が必要!**